



APUでの経験と近況報告



アジア太平洋学部 (APS) 2022年 4月 卒業生 脇屋ひいろ

APU国内学生後援会 2025年10月25日 (土)



Agenda

- ① 自己紹介
- ② APUを存分に楽しむコツ
- ③ 私のAPU生活
- ④ APUで学んだこと
- ⑤ 今後のビジョン

①自己紹介



脇屋ひいろ (2017年1月卒業生)

1998年別府市生まれ。27歳。

11歳～16歳：フランスに単身留学。

17歳：世界のことをもっと「学びたい」欲求。
マルチカルチュラルウィークを観て受験を決意。

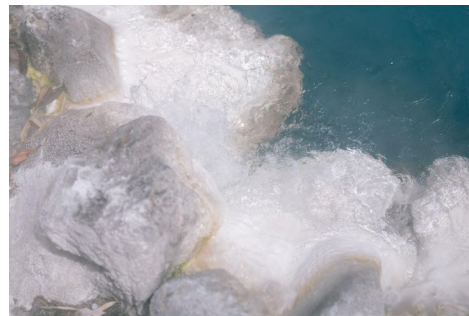
19歳：APUに入学。

23歳：父が死去したことを契機に、
家業を継ぎ代表取締役社長に就任。

① 自己紹介

有限会社フロムアース

別府市の“地”のもの（泥、温泉、湯の花）を用いたスキンケア用品の製造。



① 自己紹介

1

マテリアル事業部

湯の花製造

原料（温泉水・泥など）の採集

湯の花製造



温泉水採取



2

プロダクト開発部

化粧品製造

製品づくり



衛生管理



3

マーケティング事業部

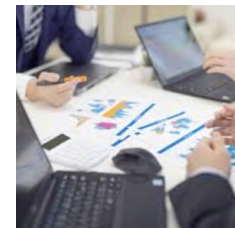
営業販売・販売促進

ブランド運営・コンテンツ作成

ファン作り



新商品の企画



原料製造から、化粧品加工、お客様とのコミュニケーションまで一気通貫で行なっている 💪

①APUを最大限楽しいむコツ



先輩

APUは「ビュッフェ」みたいな大学だよ



「自分」というお皿を
自分自身で育てる感覚

②私のAPU生活

→1回生～2回生

素晴らしい同期にとにかく圧倒され、
自信を喪失する。

¥多様な価値観を持つ学生との出会い



②私のAPU生活

→2回生～3回生

自分ととことん向き合う。
自分自身の関心が明確になる。

- ・ 講義
- ・ 人との出会い
- ・ アルバイト
- ・ ボランティア
- ・ 本
- ・ 旅行

¥特に世界を広げてくれた講義/



①多文化比較論

4つの文化圏について、その思想体系、社会システム、現代社会が直面する問題について理解する。



②文学と近代化

近代化（あるいは西洋化）と伝統の葛藤の中で生まれた明治以降の精神史を理解する。



③社会階層論

「幸福の要件」がいかにして構造的に分配されているか、そのメカニズムについて学ぶ。

②私のAPU生活

→ 3回生～4回生

学んだことのアウトプット。
他大学の学生とコラボレーションし、
雑誌を自主制作。

学生時代は、学んだことをアウトプットし、
社会とつながる機会が多く広がっています。

- ・取材依頼
- ・協賛営業
- ・制作受注
- ・行政とのコミュニケーション

¥学びや関心を社会に繋げる経験/



②私のAPU生活



雑誌自主制作

APS

文化・社会・メディア学専攻

アルバイト

スペイン語

通訳ボランティア

県主催のデザインスクール

英語

②私のAPU生活

交換留学

起業

サークル

雑誌自主制作

APS

インターン

環境・開発専攻

文化・社会・メディア学専攻

アルバイト

海外研修プログラム

国際関係専攻

スペイン語

通訳ボランティア

中国語

観光専攻

県主催のデザインスクール

英語

韓国語

学生団体

英語

③APUで学んだこと。卒業後も実践していること。

Book



- ①世界を広げ続けようとする事。
- ②自分で選択し、主体的で在ること。
- ③Think Globally, Act Locally !

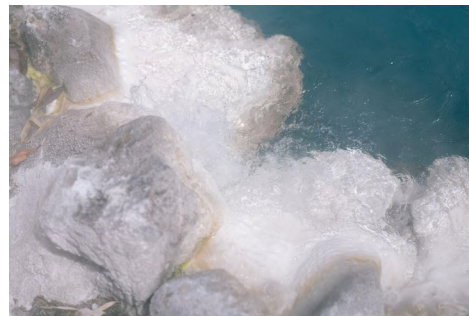
Field Work



④ 今後のビジョン

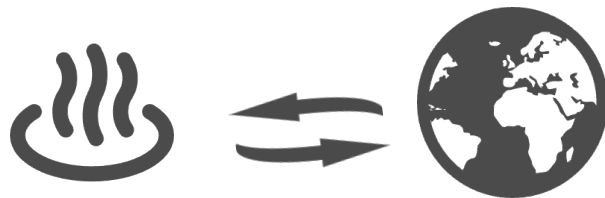
有限会社フロムアース

別府市の“地”のもの（泥、温泉、湯の花）を用いたスキンケア用品の製造。



④ 今後のビジョン

Think Globally, Act Locally !



この地域の面白さを、「製品」や「体験」を通じて、国内外のお客様に届けたい ✨



Let's Stay in Touch 😊

¥ 有限会社フロムアース /

¥ 個人アカウント /



お気軽にメッセージください！

みなさんのビジョンと、私たちのビジョンが「交わる点」で、ぜひ協働しましょう ✨